

第3 1回関東中学校駅伝競走大会 競技注意事項

本大会は、2022年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走規準並びに本大会規定に基づいて実施する。

1 出場競技者について

- (1) チームは、監督1名、選手8名以内(女子)、9名以内(男子)とし、申し込み後の選手変更は認めない。各区間の正式オーダーは、大会前日の監督会議受付時間時に提出すること。
- (2) 正式オーダー提出後の競技者の変更は、急病発生時のみ補員をその区間の交代として補充し、選手変更届を、大会当日の7時45分から8時00分の間に八王子市上柚木陸上競技場内「大会本部」に提出すること。なお、選手変更届は監督会議にて配布する。

2 「アスリートビブス(ナンバーカード)」、「腰ナンバー標識」及び「たすき」について

- (1) 「アスリートビブス(ナンバーカード)」は大会本部が用意し、前日の監督会議時に競技者1人につき4枚配布する。その利用方法は次の通りとする。
 - ① 2枚はユニフォームの胸と背につけること。(安全ピンでよい。)なお、計測用ディグのついたナンバーカードは必ず胸につけること。
 - ② 1枚は着用する一番上の上着(ベンチコート等)につける。
 - ③ シール式の1枚は荷物を入れるビニール袋につけること。
 - ④ ナンバーカードの計測用ディグの返却(回収)は、走り終わった後、フィールド内で行う。
- (2) 「腰ナンバー標識」は使用しない。
- (3) 引き継ぎ用の「たすき」は大会本部で準備したものを使用する。「たすき」は監督会議で配布する。

3 競技者の練習場所と招集の方法および招集時刻について

- (1) 競技者練習場所は、定められた場所とする。(大会プログラム記載「会場使用について」参照)
警察との取り決めにより、歩道や道路を使つての試走・練習を一切禁止とする。
コースの確認は、歩道で歩きながら行うが、コースには大型店舗や公共施設が点在しており、地域の方々に迷惑のかからないように十分注意すること。
- (2) 招集所は、野球場入口に設ける。各区間の選手は、野球場招集所に集合して点呼を受ける。
- (3) 招集の方法は次の通りとする。
 - ① 競技者は、下記の定められた時間内に、招集を完了すること。
 - ② 点呼の際は、本人がユニフォームのアスリートビブス(ナンバーカード)を招集所係員に見せる。
 - ③ スタート地点並びに中継所には、係員の誘導で招集所から移動する。
 - ④ 各区間の競技者の招集開始・完了時刻と先頭通過予定時刻は次の通りとする。

【女子】

区 間	距 離	招集開始時刻	招集完了時刻	先頭通過予想時刻
第1区走者	3. 218Km	9 : 20	9 : 30	10 : 09
第2区走者	2. 395Km	9 : 29	9 : 39	10 : 16
第3区走者	2. 395Km	9 : 36	9 : 46	10 : 23
第4区走者	2. 395Km	9 : 43	9 : 53	10 : 31
第5区走者	3. 218Km	9 : 51	10 : 01	10 : 41

【男子】

区 間	距 離	招集開始時刻	招集完了時刻	先頭通過予想時刻
第1区走者	3. 618Km	10 : 15	10 : 25	11 : 05
第2区走者	2. 818Km	10 : 25	10 : 35	11 : 15
第3区走者	2. 818Km	10 : 35	10 : 45	11 : 24
第4区走者	2. 818Km	10 : 44	10 : 54	11 : 33
第5区走者	2. 818Km	10 : 53	11 : 03	11 : 43
第6区走者	3. 218Km	11 : 02	11 : 12	11 : 53

4 競技について

- (1) 各区間の選手は、出発まで次の順で係員の指示に従って移動すること。(スタート地点図、招集所/中継所地点図参照。)

- ① 招集時刻内に招集所に集合し、アスリートビブス（ナンバーカード）及び、1区はたすきの確認を受ける。
 - ② 点呼を受けた選手は選手誘導係の指示に従って競技場の「選手待機エリア」及びスタートラインに移動する。
 - ③ 配布した袋に荷物を全て入れ、選手待機エリア内指定の場所に荷物を置く。各選手の荷物（袋）は係員が荷物置場に運搬する。トイレに行く際には係員に伝えること。
 - ④ 出発係の指示により、中継線付近に集合する。中継線に入るタイミングは係員の指示および選手自身の目視で判断する。（審判員が前走者のナンバーをコールするが、基本的には選手が自分の目で確認することとする。）
- (2) 各区間の選手はゴール後、次の順で係員の指示に従って移動すること。
 - ① 競技後誘導員の指示に従い、フィールド内でアスリートビブスについている計測用ディグを返却する。タスキは記念品として持ち帰る。
 - ② 競技後誘導員の指示に従って、荷物置場にある各自の荷物を持ち、選手退場口から退場する。
 - (3) 競技者は、走路員の指示に従って走行すること。道路上はセーフティーコーンの内側、道路左側のアスファルト部分を走行する。競技場付近はこの限りではないので、コース上を示す白線（矢印）を確認し係員の指示で走行する。歩道を走ってはいけない。
 - (4) 競技中「たすき」は肩から斜めわき下へかけて走るものとし、肩にかけていない競技者は失格の対象となる。ただし、前走者がたすきを外すのは中継線手前400mから、また、次走者がたすきをかけるのは中継後200mまでをおおよその目安とする。
 - (5) 「たすき」の受け渡しは、中継線より進行方向20mの間に手渡しで行わなければならない。また、中継線の手前から「たすき」を投げ渡してはいけない。なお、「たすき」を受け取る走者は、前走者の区域（中継線の手前の走路）に入ってはならず、中継線より進行方向に位置しなければならない。
 - (6) 競技中に負傷・意識混濁等により正常に歩くことすらできなくなった選手に対し、本人が競技続行の意志をもっていても、選手の生命や健康状態を重視し、審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることがある。
 - (7) (6)の場合、そのチームは審判長の指示に従い、次区間走者から再び競技を続行することができる。また、無効となった区間以外の各区間の記録は認められる。なお、再スタートの時間は最終チーム走者通過から1分後を目安に審判長が出発させる。
 - (8) 競技は、原則として繰り上げスタートを行わない。ただし、大会運営上審判長の判断によりやむを得ない場合は、繰り上げスタートを行う場合もある。なお、繰り上げ用たすきは大会本部で用意する。
 - (9) コースにおいては、スタート及び中継点から1kmと残り1kmの場所に距離を表示する。
 - (10) 競走中に、人または車両による伴走行為、飲食物の補給などの助力は認めない。ただし、コーチングエリア内での助言は認めることとする。（その際はマスクを必ず着用する）

5 スタートについて

- (1) 第1区の競技者のスタートについては、監督会議の受付時に抽選により決定する。
- (2) 進行方向に向かって、各列11人、3列に並んでスタートする。
- (3) 第1区走者のスタートの要領は次の通りとする。
スタートの5分前、3分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前を知らせ、スターターは10秒前と同時に「On Your Marks」と合図する。競技者は「On Your Marks」の合図でスタートラインに並び、ピストルの合図でスタートする。（5分前には競技をできる服装になってスタート地点に集合して各自のスタート位置を確認し、1分前にはスタートライン手前に整列すること。）

6 その他

- (1) 公園内及びスタート地点、中継点、練習会場、チームベンチエリアは、AD規制を行う。入場の際にはADカードを提示すること。観戦については、応援禁止エリア以外の場所でフィジカルディスタンスをとり行うこと。
- (2) ADカードを常に携帯すること。
- (3) 中継所付近には、選手・役員以外は一切入れない。また、立ち入り禁止区域には入らないこと。
- (4) 伴走等の助力行為は一切行わない。明らかに助力と認められた場合には、そのチームを失格とする。監督はレース中、コーチングエリア内でのみ選手に助言できる。（助言の際は必ずマスクを着用のこと。）
- (5) 競技中に生じた怪我のみ、応急処置を大会本部で行う。
- (6) 各チーム（都県）ごとのトランシーバーの使用は、競技運営上の交信の妨げになるので禁止する。
- (7) チームベンチエリア（テント・シート設置場所）は、別紙の通りとする。
- (8) のぼり・応援横幕は所定の場所、時間に設置し、指定外の場所への設置や持つての応援は禁止とする。個人名の応援旗は競技規則により禁止とする。
- (9) 上柚木公園は一般利用者も多く、公園周辺には一般民家、大型店舗、公共施設があるため、トラブルが起きないように十分に注意すること。その他、事前に配布する各種資料及び、監督会議での申し合わせ事項等を厳守すること。
- (10) 大会当日、公園内を自転車で移動することは禁止する。